

**令和7年度  
敦賀市民間最終処分場 環境保全対策協議会**

**－ 抜本対策事業の実施状況について－**

**令和8年3月27日  
福井県・敦賀市**

# 目 次

1	抜本対策事業の概要	．．．	P. 2
2	浸出水の木の芽川への流出防止対策	．．．	P. 3～6
	(1) 遮水壁・水処理施設		
	(2) 浸出水の揚水および水処理		
3	浸出水低減および浄化対策	．．．	P. 7～11
	(1) 遮水壁・ドレーントンネル工、キャッピング、水処理施設		
	(2) 保有水の揚水および水処理		
	(3) 遮水機能の維持		
4	処分場・遮水機能の維持管理	．．．	P. 12～15
	(1) 保守点検の実施状況		
5	今後の対応	．．．	P. 16

# 1 抜本対策事業の概要

- 木の芽川への汚染を防止するため、浸出水が木の芽川に流出することを防止する
- 処分場の早期安定化を図るため、処分場内の浸出水の低減および浄化対策を行う

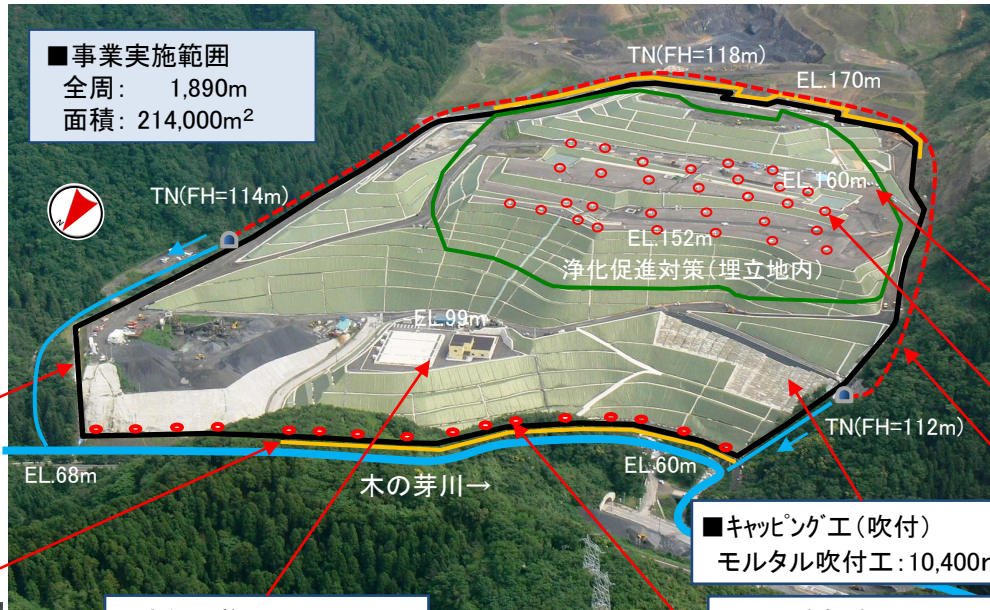
## ■対策工事の概要■



■キャッピング工(舗装)  
アスファルト舗装工: 65,900m<sup>2</sup>

■鉛直遮水工  
【カーテングラウチング工】  
施工延長:  
北側444m, 東側504m,  
南側555m, 西側387m

■鉛直遮水工  
【連続地中壁工】  
施工延長:  
北側L=315m, 南側L=486m



■事業実施範囲  
全周: 1,890m  
面積: 214,000m<sup>2</sup>

■水処理施設  
貯留槽: 10,000m<sup>3</sup>



■キャッピング工(吹付)  
モルタル吹付工: 10,400m<sup>2</sup>

■浸出水揚水井戸  
φ600mm仕上×13箇所  
+既設3箇所



■キャッピング工(遮水シート)  
遮水シート工: 135,800m<sup>2</sup>

■防災調整池  
調整池容量: 2,730m<sup>3</sup>

■保有水揚水井戸  
φ600mm仕上×30箇所

■ドレーントンネル工  
延長: 1,095m



## ■浄化促進対策の概要■

埋立地内に水や空気を注入し、  
廃棄物の自然浄化を促進させ、  
早期の安定化を図る。

水注入: キャッピング撤去による雨水浸透  
(R5年度以降も継続)



空気注入(R4年度まで)

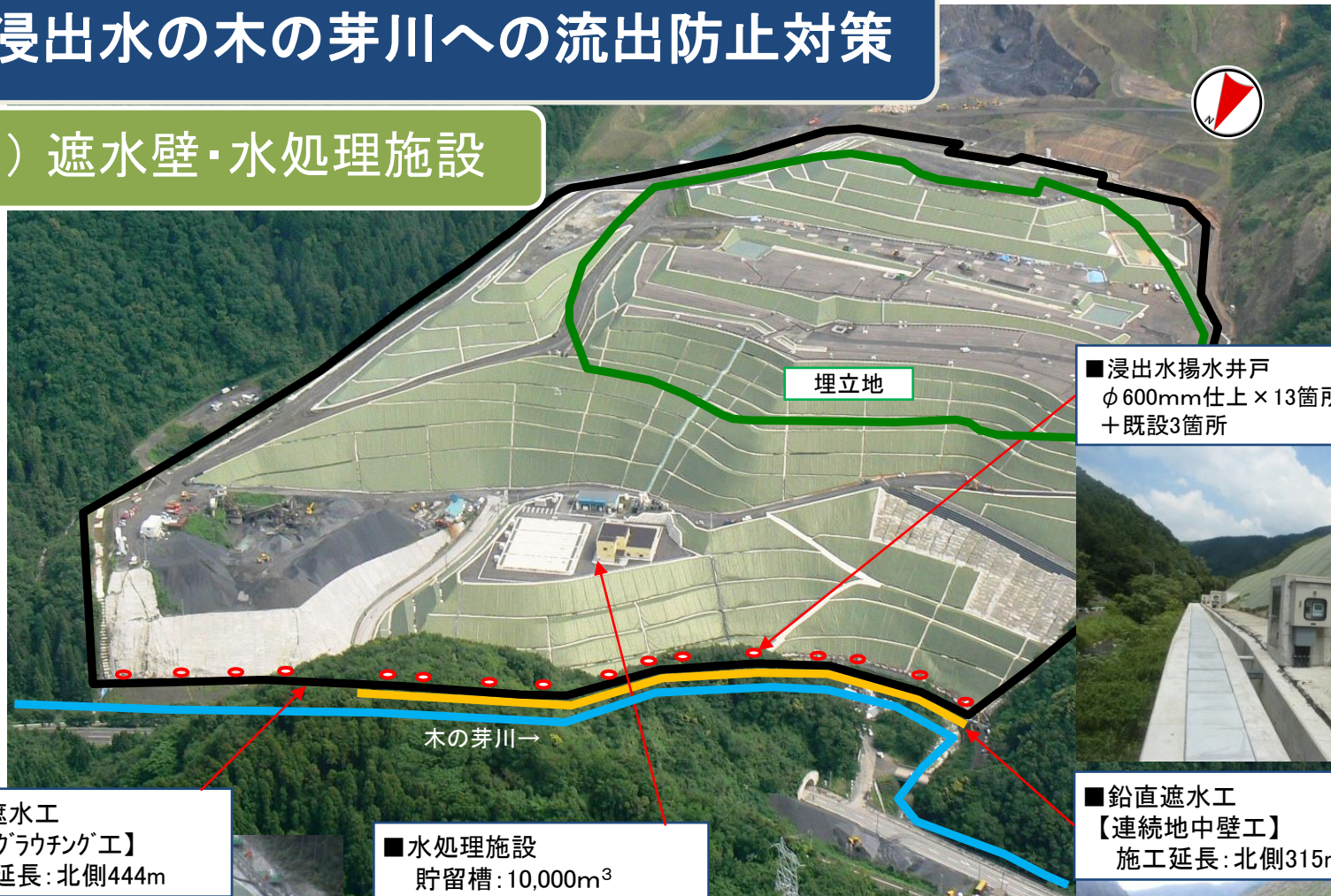


水循環(R4年度まで)



## 2 浸出水の木の芽川への流出防止対策

### (1) 遮水壁・水処理施設



埋立地

■ 浸出水揚水井戸  
φ 600mm仕上 × 13箇所  
+ 既設3箇所

木の芽川→

■ 鉛直遮水工  
【カーテングラウチング工】  
施工延長: 北側444m

■ 水処理施設  
貯留槽: 10,000m<sup>3</sup>

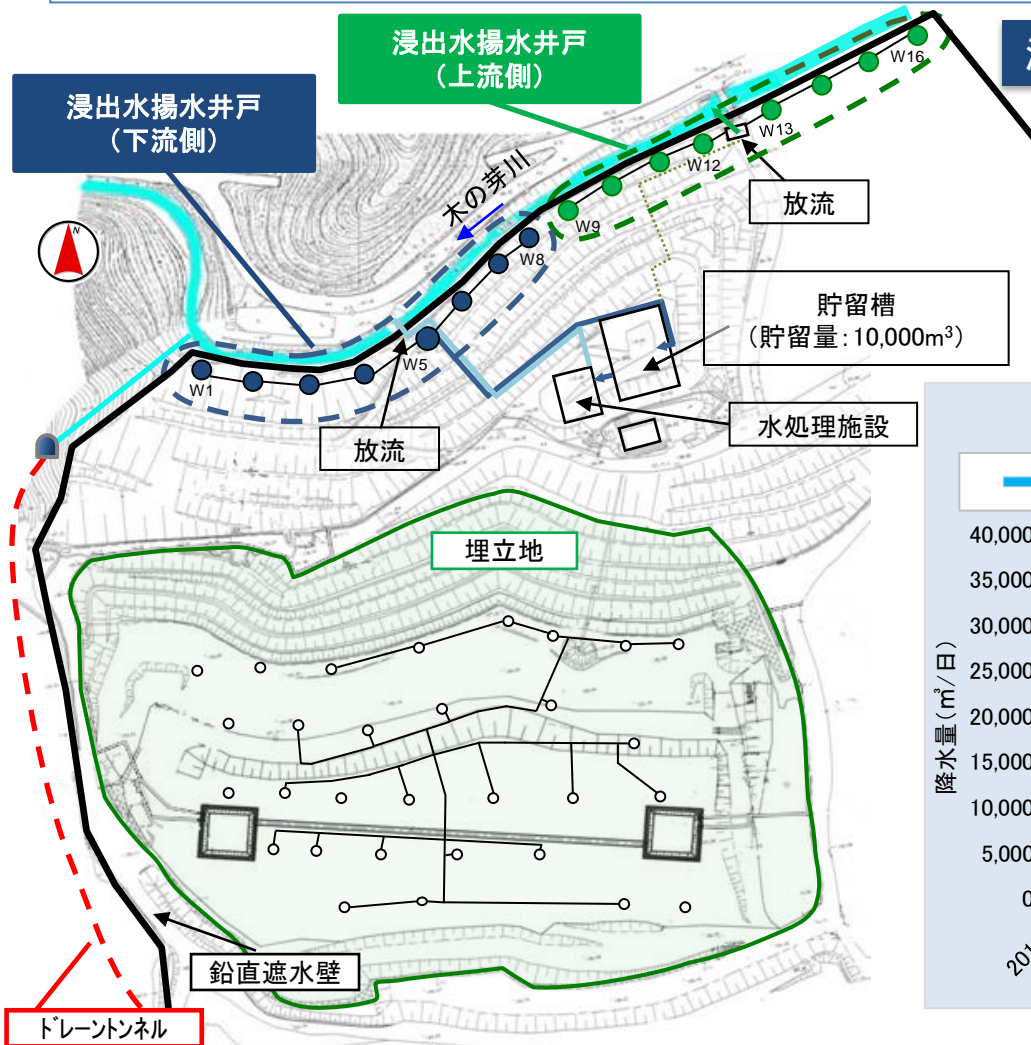
■ 鉛直遮水工  
【連続地中壁工】  
施工延長: 北側315m



## (2) 浸出水の揚水および水処理

### ① 浸出水の揚水状況

- 浸出水（上流側・下流側）の揚水量は、約210～880m<sup>3</sup>/日
- 木の芽川沿いに設置した揚水井戸16本で揚水した浸出水のうち、下流側8本は水処理施設に送水して水処理後放流、上流側8本の浸出水は直接放流



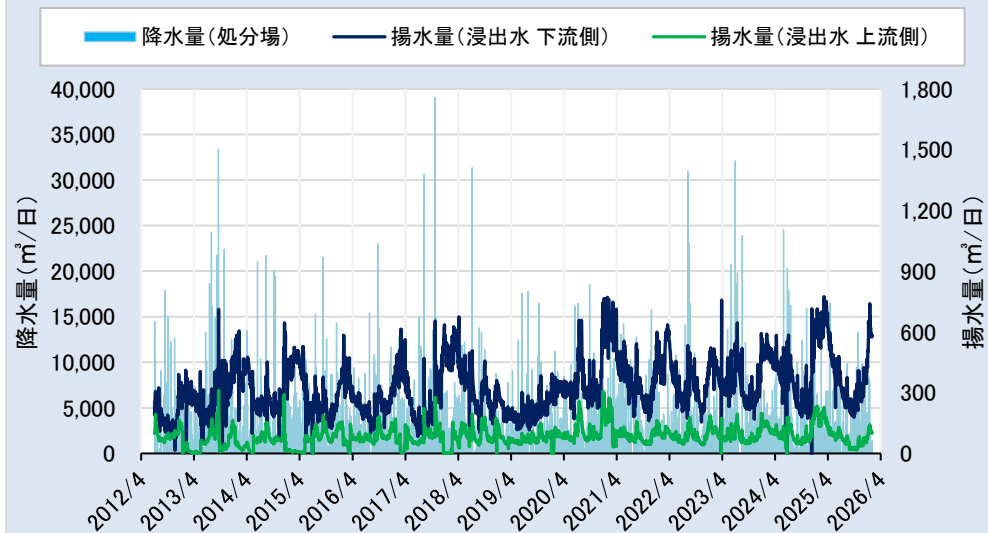
浸出水揚水井戸(下流側)



浸出水揚水井戸(上流側)



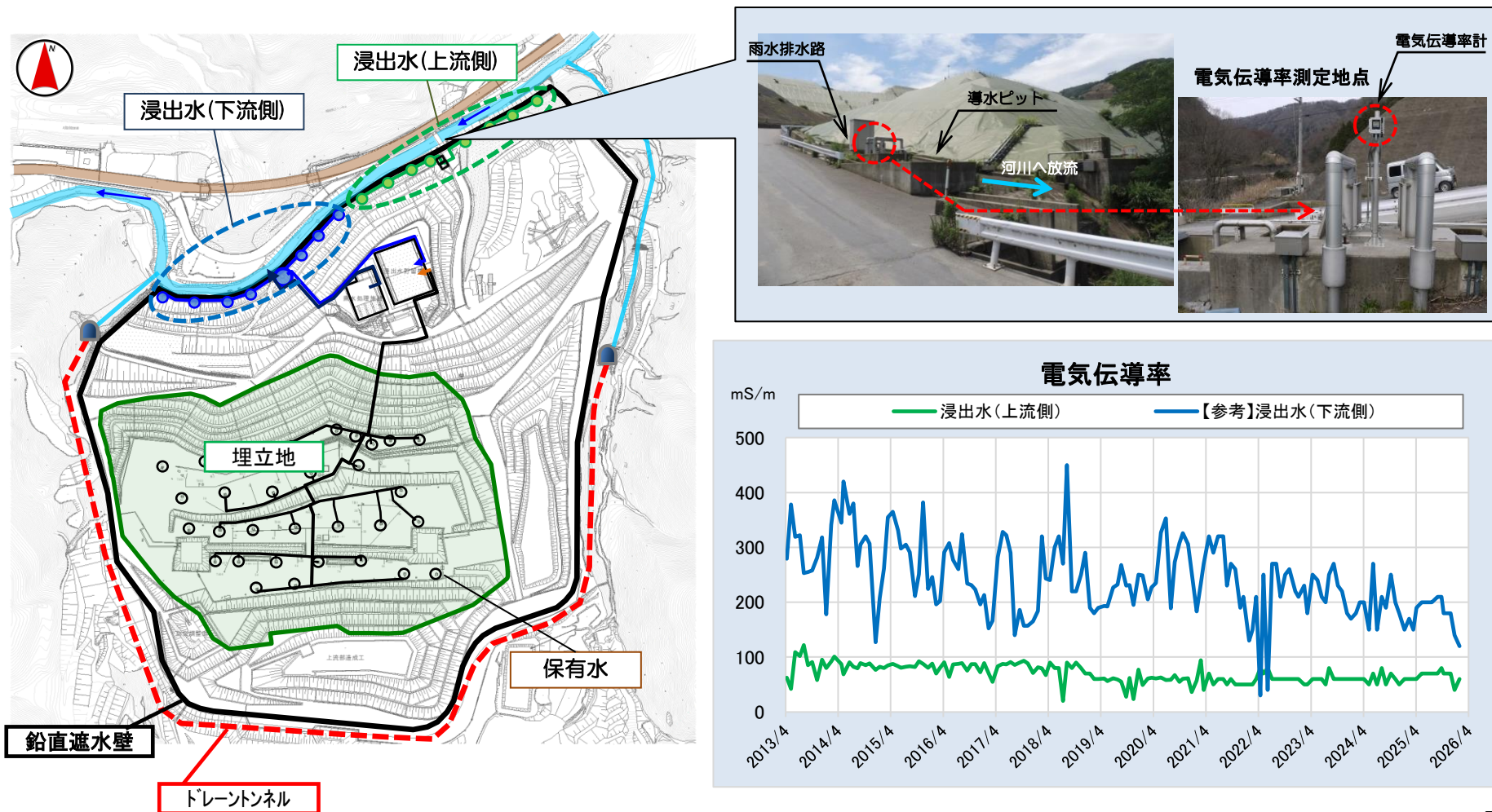
処分場内における揚水量



## ② 浸出水（上流側）の放流状況

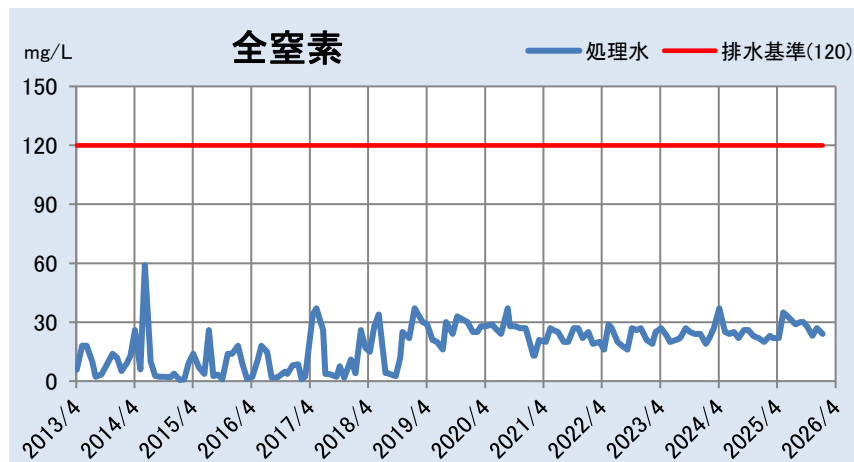
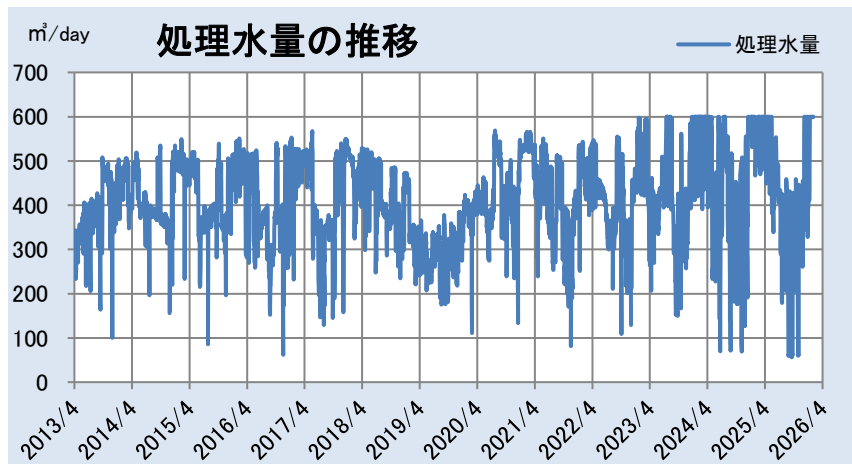
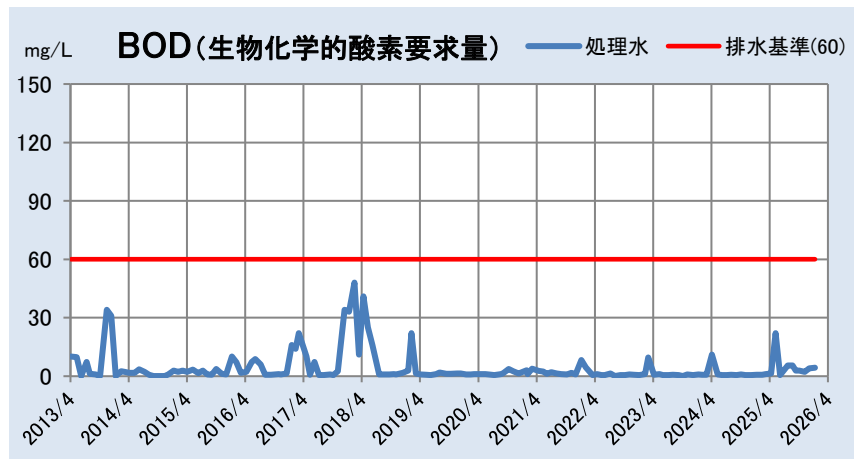
- 浸出水（上流側）の水質は、排水基準と比べて十分に低いことから、水質監視を行った上で、2019年1月から放流を開始（放流量は、約 20～140 m<sup>3</sup>/日）
- 監視している電気伝導率は、年間を通して、安定的に推移

< 処分場の全体平面図 >



### ③ 水処理施設の処理状況

- 浸出水および保有水の処理水量は、約60～600 m<sup>3</sup>/日
- 処理水質はバイパス運転後も常時排水基準を満足



### 3 浸出水低減および浄化対策

#### (1) 遮水壁・ドレーントンネル工、キャッピング工、水処理施設

■鉛直遮水工  
【カーテングラウチング工】

施工延長：東側504m,南側555m,西側387m



■鉛直遮水工  
【連続地中壁工】

施工延長：南側486m



■保有水揚水井戸  
φ600mm仕上×30箇所



埋立地

木の芽川→

■キャッピング工(遮水シート)

遮水シート工：135,800m<sup>2</sup>



■キャッピング工(舗装)

アスファルト舗装工：65,900m<sup>2</sup>



■水処理施設

貯留槽：10,000m<sup>3</sup>



■ドレーントンネル工

延長：1,095m



## (2) 保有水の揚水および水処理

○ 保有水の揚水量は、約20~90 m<sup>3</sup>/日

○ 埋立地内に設置した揚水井戸で揚水した保有水を水処理施設に送水し、水処理後放流



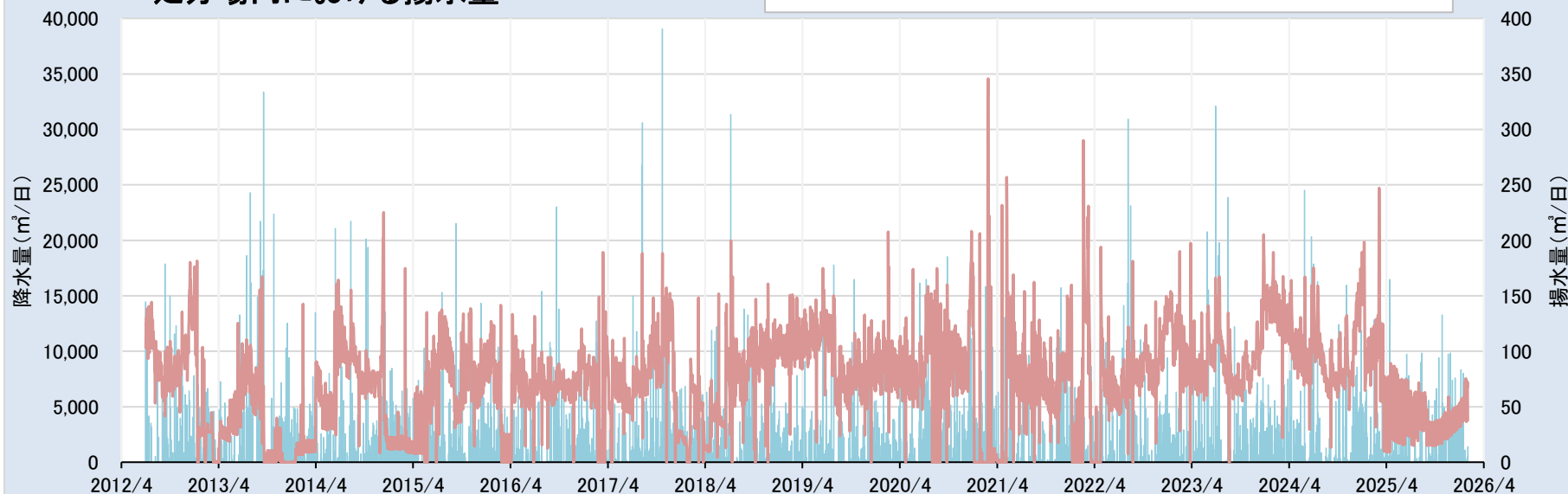
保有水揚水井戸



保有水導水管



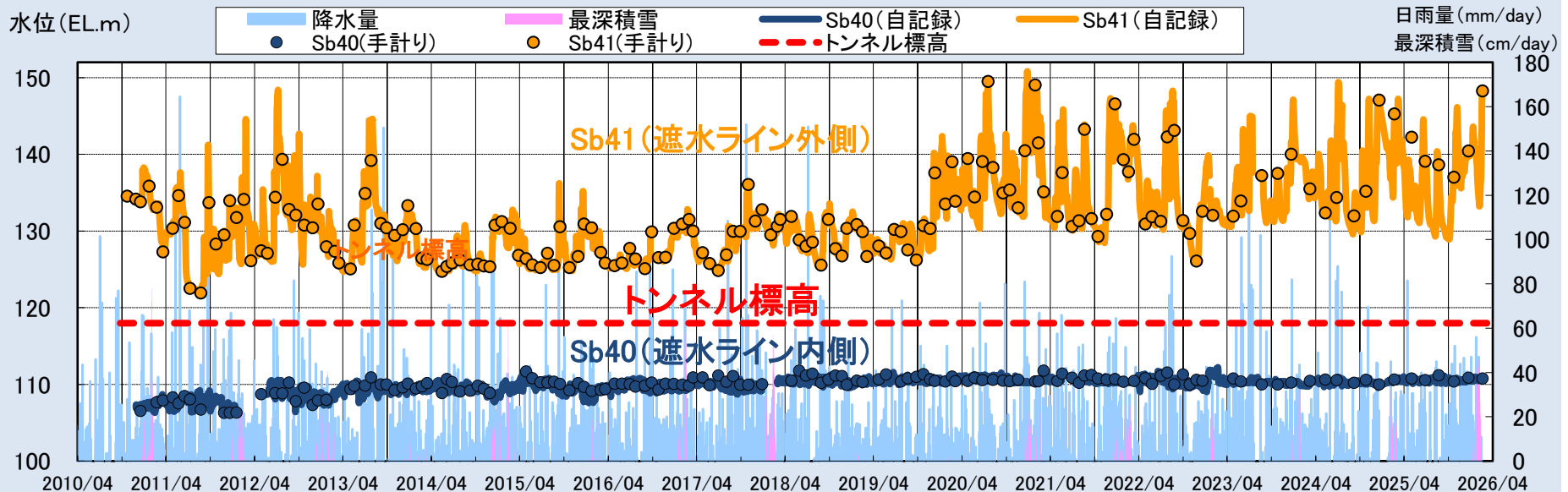
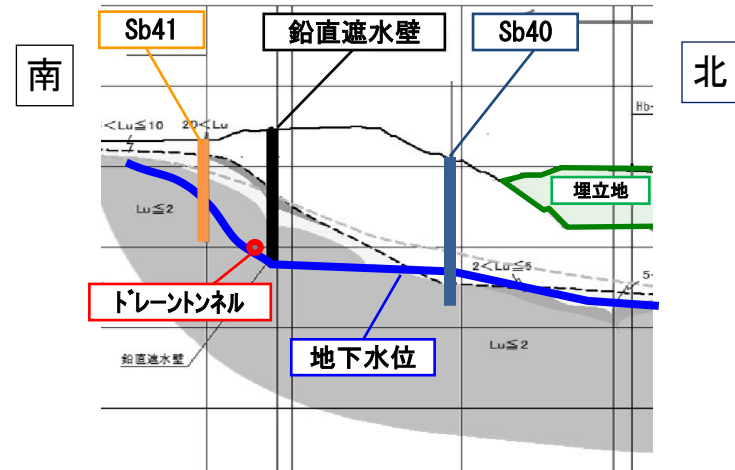
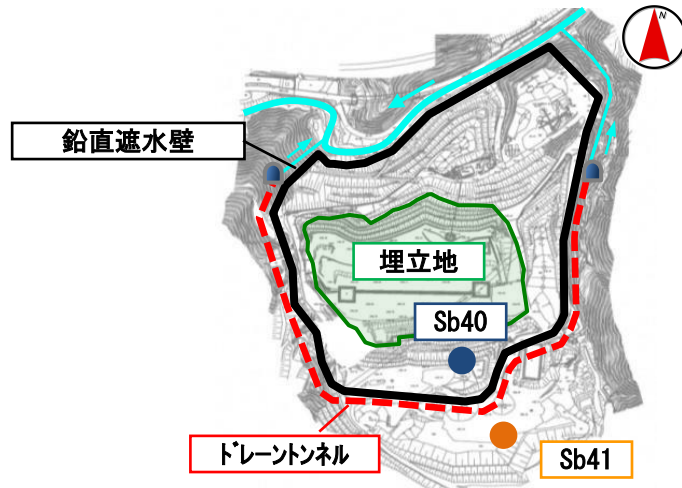
処分場内における揚水量



### (3) 遮水機能の維持

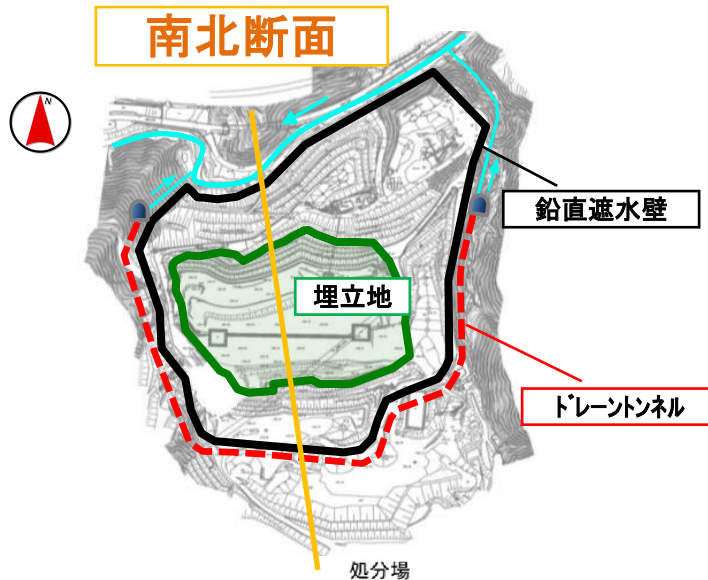
#### ① 遮水壁内外の地下水位

○ 遮水壁外側の地下水位は、降雨等の影響による変動はあるが、遮水壁・ドレーントンネル・キャッピングにより、遮水壁内側の地下水位は安定しており、遮水壁の健全性を維持

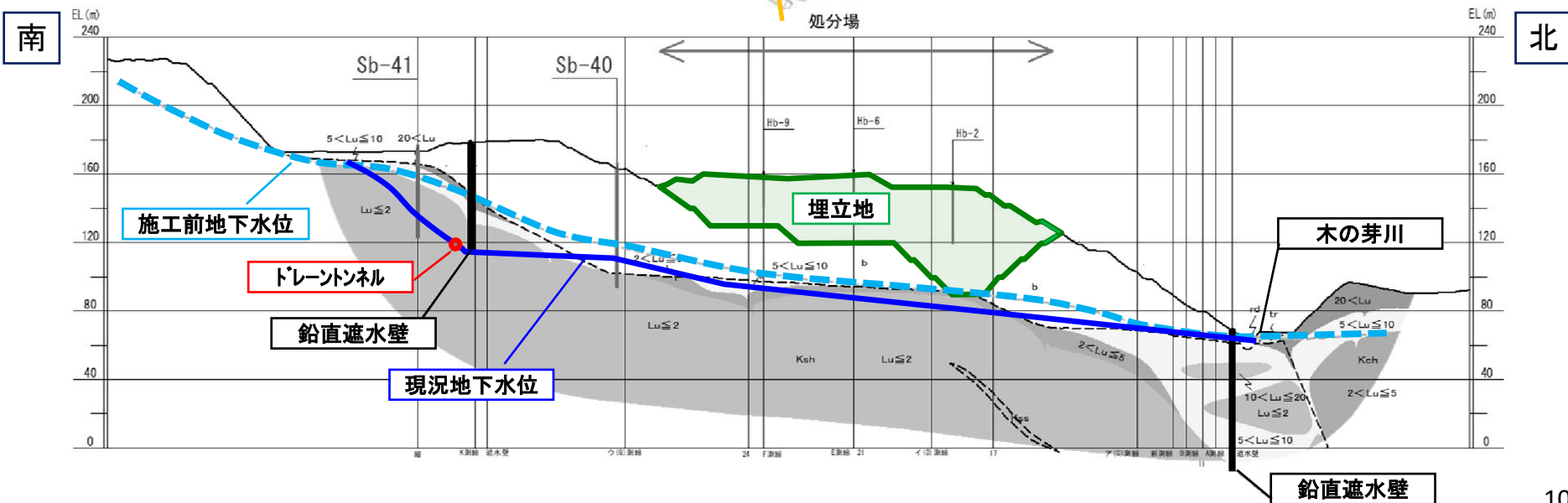


## ② 処分場内の地下水位 (水位断面図)

- 遮水壁・ドレーントンネル・キャッピングにより地下水位が低下
- 地下水や雨水の流入抑制により、遮水壁内側の地下水位は低い状態を維持

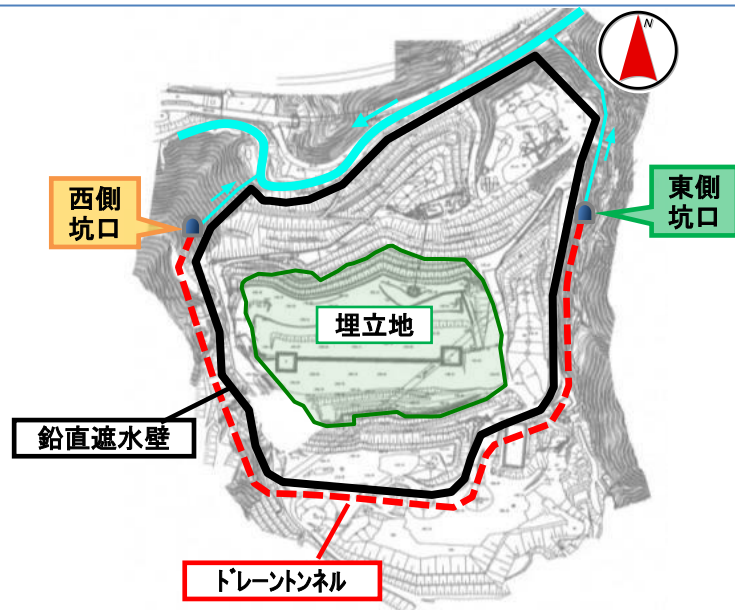


南北断面図



### ③ ドレーントンネルの排水状況

○ ドレーントンネルの排水量は、西側約110～1150L/min、東側約40～550L/minであり、排水機能を維持



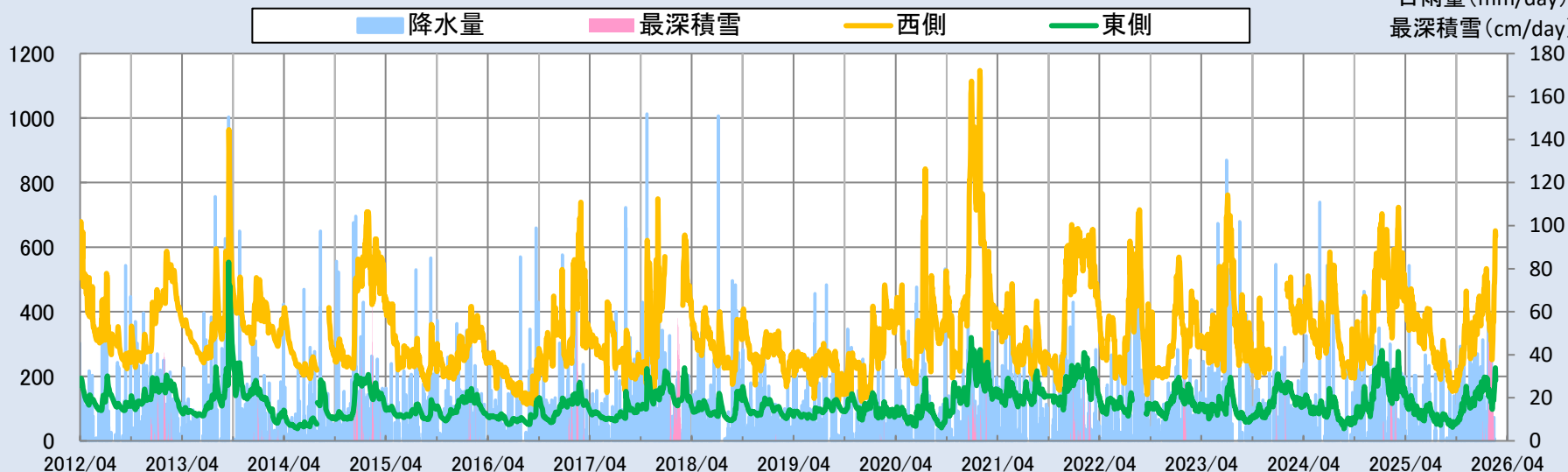
排水量測定のための三角堰



流量 (L/min)

### ドレーントンネル排水量

※水位計の更新等によりデータの一部が欠損  
日雨量 (mm/day)  
最深積雪 (cm/day)



## 4 処分場・遮水機能の維持管理

### (1) 保守点検の実施状況

#### ① キャッピングおよびドレーントンネル等の点検

- キャッピングおよびドレーントンネル等について、定期的に日常点検、定期点検を実施
- 地震、台風等の災害時には、臨時点検を実施

点検の種類	点検内容	実施頻度
日常点検	目視、ドローンによる施設の異常の有無を確認する	2回/月
定期点検	目視点検、計測等により施設の補修の必要性を判定し、補修方法を検討する	1回/年(6月)
臨時点検	地震、台風、集中豪雨等による異常の有無を目視、ドローンにより確認する	異常気象等発生時
詳細点検	突発的な異常が発生した場合や補修のための詳細な点検を行う	異常が発生した時

## ② キャッピングおよびドレーントンネル等の点検状況

遮水シートの点検



遮水シート固定工の点検



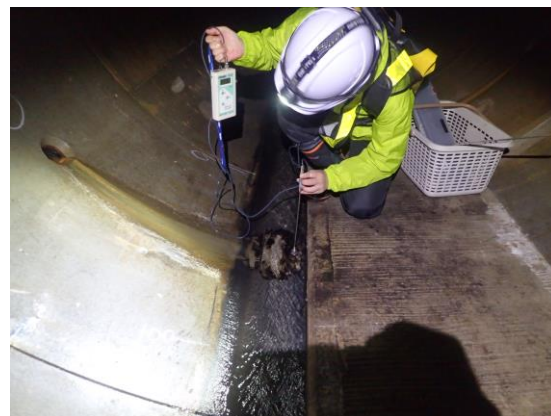
キャッピングアスファルトの点検



雨水集排水設備の点検



ドレーントンネルの流量確認



ドレーントンネルの点検



### ③点検用ドローンの導入

- キャッピング等の状況をより迅速かつ的確に把握するためにドローンを導入
- 大雪時等の徒歩で近くまで到達困難な場合でも現状の把握が可能



全景の撮影



全景の撮影(大雪後の徒歩で到達困難時に撮影)



遮水シートを近接で撮影



防災調整池の状況撮影(大雪後の徒歩で到達困難時に撮影)





## 5 今後の対応

- 保有水・浸出水の揚水および水処理
- 環境モニタリング
- その他
  - ・キャッピング撤去部からの雨水の自然浸透
  - ・遮水工の点検